

宮崎県埋蔵文化財センター一年報

第2号

平成9  
(1997)  
年度

1998

## 序

本年報は宮崎県埋蔵文化財センターが平成9年度に実施した各種事業の概要をまとめたものです。

宮崎県埋蔵文化財センターも、平成8年の独立以来3年目を迎え、ようやく安定した軌道にのりつつあります。東九州自動車道関連の発掘調査も一つのピークを迎え、西都～清武間の調査もその主要な部分を終了することができました。

埋蔵文化財をとりまく環境には、依然きびしいものがありますが、当センターとしましても、発掘調査のみならず教育普及の分野でも一層の成果をあげるよう努力いたしますので、関係各位のご理解とご援助をお願いいたします。

平成10年12月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 田 中 守

# 目 次

I	平成9年度の活動状況	1
1	埋蔵文化財緊急調査	1
(1)	発掘調査	1
(2)	発掘調査に伴う特別調査員の招聘と資料調査	4
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	4
(4)	保存処理	6
(5)	収蔵整理	6
2	教育普及活動	7
(1)	展 示	7
(2)	埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」	8
(3)	施設公開	8
(4)	現地説明会	9
(5)	埋蔵文化財専門職員研修会	9
(6)	広報出版物	9
(7)	資料等の提供	9
(8)	研修・体験学習等の受入れ	10
(9)	会議・職員研修	10
(10)	職員派遣	11
II	組織・施設	12
III	埋蔵文化財センターの沿革	13
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	14

## I 平成9年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の発掘調査及び研究
- 2 出土品その他の資料の保存活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財保護思想の普及啓発

平成9年度は以下に記述する事業を実施した。

### 1. 埋蔵文化財緊急調査

#### (1)発掘調査

東九州自動車道建設や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う確認調査や発掘調査を実施しているが、平成9年度は布平遺跡（日之影町）、鶴野内中水流遺跡（東郷町）、別府原・西ヶ迫遺跡（西都市）、迫内遺跡（宮崎市）、内屋敷遺跡（小林市）、牧ノ原第2遺跡（都城市）など32遺跡を調査した。各々の遺跡の概要については、別に刊行する『平成九年度埋蔵文化財発掘調査一覧』を参照されたい。

平成9年度発掘調査遺跡一覧

遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査面積	調査担当	主な遺構・遺物
1 別府原・西ヶ迫	旧石器～縄文早期	西都市大字鹿野田字別府原	東九州自動車道建設	平成9年4月7日～平成10年3月31日	(㎡) 9,050	日高広人 青山尚友 大坪博子 太田裕晴	礫群20, 陥穴19, 竪穴状遺構15, 炉穴300, 集石遺構58, ナイフ・細石器等, 貝殻条痕文土器, 局部磨製石斧等
2 上ノ原	旧石器～縄文早期中世	佐土原町大字西上那珂字上ノ原	東九州自動車道建設	平成9年4月1日～平成10年3月26日	7,500	時任和守 日高裕司 木本剛	礫群21, 陥穴12, 炉穴6, 集石遺構8, 掘立柱建物18 ナイフ・細石器等, 貝殻条痕文土器, 押型文土器等
3 下屋敷	旧石器～縄文早期	佐土原町大字西上那珂字下屋敷	東九州自動車道建設	平成9年4月1日～平成10年2月18日	8,640	吉牟田浩一 日高裕司	礫群35, 集石遺構3, 陥穴3, 土壇3, ナイフ, 剥片尖頭器, 細石器, 貝殻条痕文土器, 局部磨製石斧等
4 長蘭原	旧石器～縄文早期	佐土原町大字西上那珂字長蘭原	東九州自動車道建設	平成9年4月1日～平成9年12月5日	6,676	時任和守 川崎辰巳	礫群7, ブロック8, 炉穴4, 竪穴状遺構1, 集石遺構6, 陥穴7, ナイフ, 剥片尖頭器, 細石器, 貝殻条痕文土器
5 松元	旧石器～縄文早期	国富町大字木脇字松元	東九州自動車道建設	平成9年4月1日～平成9年9月5日	2,748	柳田益宏	集石遺構19, ナイフ, 三稜尖頭器, 細石核, 貝殻条痕文土器, 塞ノ神式土器等
6 木脇	旧石器～縄文早期古墳, 平安	国富町大字木脇字上之原	東九州自動車道建設	平成9年4月2日～平成10年3月31日	9,233	倉永英季 園田和宏 日浅雅道 谷川亜紀子	炉穴30, 集石遺構80, 竪穴住居跡40, 掘立柱建物40, ナイフ, 剥片尖頭器, 前平式土器, 土師器, 須恵器等
7 塚原	旧石器～縄文早期弥生, 古墳中近世	国富町大字塚原字西ノ免	東九州自動車道建設	平成9年4月1日～平成9年10月23日	3,297	松原宗一 園田和宏	集石遺構12, 土壇墓3, 円墳, 水田跡, 堰状遺構, 細石器, 隆帯文土器, 局部磨製石斧, 弥生土器, 須恵器
8 中別府	中近世	宮崎市大字金崎字中別府	東九州自動車道建設	平成9年7月14日～平成10年1月30日	4,100	江田誠	掘立柱建物跡2, 墨書土器, 布痕土器, 陶磁器
9 倉岡	古墳, 古代	宮崎市大字金崎字寺尻	東九州自動車道建設	平成9年5月12日～平成9年11月8日	3,000	日浅雅道	竪穴住居6, 指宿式土器, 綾式土器, 須恵器, 土師器
10 町屋敷	古墳, 古代中世	宮崎市大字糸原字池内	東九州自動車道建設	平成9年4月1日～平成10年3月4日	32,600	鳥原孝仙 崎田一郎	水田跡, 堰跡, 土師器, 木器須恵器, 網代
11 迫内	古墳, 中世	宮崎市大字富吉字迫内	東九州自動車道建設	平成9年9月18日～平成10年3月4日	1,541	山田洋一郎 倉永英季 小山博	円墳2, 方墳1, 横穴2, 線刻板碑, 五輪塔50, 土師器等
12 塚田	縄文, 古代中世	宮崎市大字長嶺	東九州自動車道建設	平成9年7月9日～平成9年9月5日	396	高橋祐二	曾畑式土器, 須恵器, 墨書土器, 緑釉陶器, 龍泉窯系青磁, 瓦器, 東播系捏ね鉢
13 本城跡	中近世	宮崎市古城町本城	東九州自動車道建設	平成9年4月2日～平成9年8月12日	17,220	橋本英俊 小山博 山田洋一郎	土壇80, 掘立柱建物, 井戸, 堀切, 土塁, 青磁, 銭貨
14 平田迫	古墳, 平安中世	佐土原町大字上田島字平田迫	東九州自動車道建設	平成9年4月2日～平成9年5月30日	8,490	川崎辰巳	横穴墓, 見張り台, 中世墓, 須恵器, 骨蔵器
15 梅ヶ島	平安, 近世	佐土原町大字西上那珂字梅ヶ島	東九州自動車道建設	平成9年8月4日～平成9年12月15日	4,500	小山博 橋本英俊	水田跡, 布痕土器
16 布平	縄文, 古代中世	日之影町大字七折	広域営農団地農道建設	平成9年4月1日～平成9年10月3日	3,000	高橋誠	竪穴住居跡7, 掘立柱建物9, 土壇14, 土師器, 青磁, 白磁



遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査面積	調査担当	主な遺構・遺物
17 鶴野内 中水流	弥生, 古墳 近世	東郷町大字 山陰字中水 流	特定交通安全施 設整備	平成9年6月2日～ 平成9年10月3日	(㎡) 2,000	高橋 誠	竪穴住居跡34, 掘立柱建物跡 13, カマド跡 4, 牛馬糞 3 瀬戸内系弥生土器等
18 林	古墳, 古代 ～中世	延岡市伊形 町	延岡道路建設	平成9年6月30日～ 平成10年1月30日	9,800	東 憲章	竪穴住居跡 2, 掘立柱建物群, 水田跡, 五輪塔, 和鏡, 土師 器, 須恵器
19 頭 田	弥生, 古墳	新富町大字 三納代	鬼付女川障害対 策事業	平成9年11月25日 ～ 平成9年12月25日	350	高橋 誠	弥生土器, 土師器, 須恵器, 磁器, 磨石
20 内屋敷	縄文早期 弥生後期 中世	小林市大字 真方字内屋 敷	県立小林高等学 校生徒寮建設	平成9年4月14日～ 平成9年8月21日	2,800	甲斐貴充 米久田真二	集石遺構 5, 平地式住居跡10, 竪穴住居跡 1, 掘立柱建物跡 1, 縄文土器, 弥生土器, 須恵 器, 鉄鏝, 石鏝等
21 母智丘 谷	中世	都城市横市 町字母智丘	農用地総合整備 事業(広域農道)	平成10年1月19日 ～ 平成10年3月25日	850	甲斐貴充 黒木欣綱	水田跡, 陶磁器
22 上牧第 2	縄文中期 縄文後期 古墳, 古代	都城市横市 町	九州農業試験場 施設整備	平成9年8月18日～ 平成9年11月17日	1,800	久木田浩子	竪穴住居跡 2, 畝状遺構, 阿 高式土器, 市来式土器, 土師 器, 布目痕土器等
23 母智谷 原第2	弥生, 古墳	都城市横市 町	九州農業試験場 施設整備	平成10年1月19日 ～ 平成10年2月13日	240	高橋 誠	竪穴住居跡 1, 掘立柱建物跡 2, 弥生土器, 土師器, 須恵器
24 牧ノ原 第2	縄文, 弥生 古墳, 中世	都城市横市 町	県総合農業試験 場畑作園芸支場 整備事業	平成9年4月2日～ 平成9年10月31日	23,000	久木田浩子 黒木欣綱	竪穴住居跡 3, 畝状遺構, 掘 立柱建物跡 2, 土壇37, 市来 式土器, 組織痕土器, 瀬戸内 系弥生土器, 土師器等
25 竹ノ内	縄文早期 縄文後期	清武町大字 今泉字竹ノ 内	東九州自動車道 清武インター建 設	平成9年5月12日～ 平成9年10月11日	2,500	高山富雄 山田洋一郎	集石遺構16, 竪穴住居跡50, 出水式, 北久根山式, 市来式 土器等, 軽石製人形, 岩偶, 石皿, 磨石, 土師器等
26 石 用	古代	宮崎市大字 富吉字石用	東九州自動車道 宮崎西インター 建設	平成9年5月12日～ 平成9年12月25日	8,000	和田理啓 柳田晴子	水路跡 2, 杵, 須恵器等
27 友 尻	古墳～中世	宮崎市大字 富吉字友尻	東九州自動車道 宮崎西インター 建設	平成9年12月8日 ～ 平成10年4月23日	2,500	川崎辰巳 柳田晴子	水田跡 2枚, 土師器, 須恵器, 陶磁器
28 石塚城 跡	中世	宮崎市大字 浮田鳥ノ子	国道10号宮崎西 バイパス建設	平成9年8月18日～ 平成9年9月26日	1,500	重山郁子	土師器
29 鳥ノ子	古代	宮崎市大字 浮田鳥ノ子	国道10号宮崎西 バイパス建設	平成10年1月12日 ～ 平成10年3月30日	1,200	日淺雅道	水田跡, 土壇 3, 土師器, 須 恵器, 墨書土器, 木製品等
30 柿 迫	中近世	宮崎市大字 糸原字柿迫	宅地開発	平成9年10月8日～ 平成10年3月31日	4,300	重山郁子 代田博文	帯曲輪, 土塁, 須恵器, 土師 器, 陶磁器等
31 堀川運 河跡1次	近代	日南市園田 町	堀川運河整備事 業	平成9年7月2日～ 平成9年7月28日	90	和田理啓	木材積出し用運河斜路跡
32 堀川運 河跡2次	近代	日南市園田 町	堀川運河整備事 業	平成10年1月19日～ 平成10年2月2日	50	甲斐貴充	木材積出し用運河斜路跡

## (2) 発掘調査に伴う特別調査員の紹聘及び資料調査

慎重な調査を要する遺跡、遺構の調査にあたって、調査方法を指導していただく研究者を紹聘した。また、性格がはっきりしない遺物や、考古学以外の分析を必要とする遺物について指導を仰ぐため、調査員を各研究者のもとに派遣した。

### 特別調査員

所属・氏名	指導内容	場所	日程
宮崎大学教授 柳沢一男	東九州自動車道関連遺跡調査	塚原遺跡	平成9年8月26日
宮崎大学教授 柳沢一男	東九州自動車道関連遺跡調査	塚原遺跡	平成9年10月14日
奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター長 工業善通	東九州自動車道関連遺跡調査指導（水田跡等）	町屋敷遺跡 梅ヶ島遺跡	平成9年10月26日 ～ 10月28日
宮崎印刷工業組合 山崎健二	内屋敷遺跡報告書作成指導	宮崎県埋蔵文化財センター	平成9年11月11日
別府大学名誉教授 賀川光夫	布平遺跡発掘調査指導（縄文）	宮崎県埋蔵文化財センター等	平成9年11月11・12日
別府大学教授 橋 昌信	発掘調査指導（旧石器）	下屋敷遺跡、埋蔵文化財センター	平成9年11月13・14日
元宮崎県総合農業試験場特別研究員 有村玄洋	土壌・地質等調査指導	国富分室、東九州自動車道関係各遺跡	平成9年7月31日 平成9年9月4・5日 平成9年11月6・18日 平成10年2月10日

### 資料調査

目的	出張先	日程	出張者
鶴野内遺跡出土獣骨鑑定依頼	鹿児島大学農学部家畜解剖学教室	平成9年10月28日	高橋 誠
牧ノ原第2遺跡出土獣骨鑑定依頼	鹿児島大学農学部家畜解剖学教室	平成9年12月9日	久木田浩子
古墳時代終末期資料調査	福岡県宗像郡津屋崎町（第43回埋蔵文化財研究集会）	平成10年2月7～8日	和田理啓
古墳時代資料調査 湖州鏡資料調査	福岡県宗像郡津屋崎町（第43回埋蔵文化財研究集会） 北九州市立考古博物館	平成10年2月7～9日	東 憲章
埋蔵文化財予算執行方法等調査	鹿児島県立埋蔵文化財センター	平成10年2月13日	三石泰博 磯貝政伸 東 憲章
鶴野内遺跡瀬戸内系土器等調査	愛媛大学法文学部、松山市埋蔵文化財センター	平成10年3月4～6日	高橋 誠

## (3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。平成9年度に整理を実施した遺跡は22遺跡で、内訳は東九州自動車道関係及び高千穂バイパス等国、公団、公社からの受託事業が8遺跡、県土木部関係2遺跡、県農政水産部関係4遺跡、県教育委員会関係6遺跡、市町村事業2遺跡である。発掘調査報告書は4冊刊行した。

出土遺物等整理遺跡一覧

	遺 跡 名	事 業 名	原 因 者
1	高千穂バイパス遺跡群	国道 218号高千穂バイパス建設	建設省九州地方建設局延岡工事事務所
2	林遺跡	延岡道路建設	建設省九州地方建設局延岡工事事務所
3	石用遺跡	東九州自動車道宮崎西インター建設	建設省九州地方建設局宮崎工事事務所
4	前田遺跡	国道10号宮崎北バイパス建設	建設省九州地方建設局宮崎工事事務所
5	右葛ヶ迫遺跡	国道220号青島バイパス	建設省九州地方建設局宮崎工事事務所
6	東九州自動車道関係	東九州自動車道建設	日本道路公団九州支社宮崎工事事務所
7	市位遺跡	希望ヶ丘西区画整理事業	宮崎県住宅供給公社
8	荒迫遺跡	宮崎フリーウェイ工業団地造成	宮崎県土地開発公社
9	布平遺跡	県営広域営農団地農道建設	宮崎県西臼杵支庁農政水産課
10	牧ノ原第2遺跡	総合農業試験場畑作支場建設	宮崎県農政水産部農政企画課
11	時屋地区遺跡	時屋地区県営農地保全整備事業	宮崎県農政水産部中部農林振興局
12	大鹿倉遺跡(1次)	畜産試験場基盤整備事業	宮崎県農政水産部畜産課
13	鶴野内中水流遺跡	特定交通安全施設整備事業(「道の駅」)	宮崎県土木部日向土木事務所
14	頭田遺跡	鬼付女川障害防止対策事業	宮崎県土木部高鍋土木事務所
15	内屋敷遺跡	県立小林高等学校体育コース生徒寮建設	宮崎県教育庁学校施設課
16	西下本庄遺跡	県立本庄高等学校運動場整備事業	宮崎県教育庁学校施設課
17	寺崎遺跡(6次)	国衙跡保存整備基礎調査事業	宮崎県教育庁文化課
18	中近世城跡	中近世城跡分布調査事業	宮崎県教育庁文化課
19	西都原古墳群	地方拠点史跡等総合整備事業	宮崎県教育庁文化課
20	試掘・確認調査	農業基盤整備事業・緊急調査	宮崎県教育庁文化課
21	中野内遺跡	ほ場整備事業	北浦町
22	一本松遺跡	公園整備事業	高城町

発掘調査報告書

	報 告 書 名	刊 行 日
1	第9集 「前田遺跡(一般国道10号宮崎北バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)」	平成10年3月
2	第10集 「市位遺跡(希望ヶ丘西区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ)」	平成10年3月
3	第11集 「荒迫遺跡(宮崎フリーウェイ工業団地造成に伴う発掘調査報告書)」	平成10年3月
4	第12集 「平成9年度東九州自動車道関係埋蔵文化財調査概要報告書Ⅱ(西都～清武)」	平成10年3月



#### (4) 保存処理

保存処理室では、鉄製品や木製品を保存処理している。宮崎県は、地下式横穴墓から多量の鉄製品が良好な状態で出土するため、年次的に鉄製品保存処理関係器機を整備してきた。木製品については、PEG含浸装置等が未設置のため、委託あるいはバキュームシーラーでのパッキング等で対応している。また、市町村教育委員会からの備品の利用や保存処理の依頼等についても受入れている。

##### 保存処理・調査研究関係備品一覧

設置場所	機器名	製品名(規格)	製造会社名	購入年度	備考
鉄器保存処理室	送風定温乾燥器	DN-61型	ヤマト科学	1983	漏電ブレーカー付
鉄器保存処理室	定温乾燥器	DN-94型	ヤマト科学	1992	
鉄器保存処理室	鉄器樹脂含浸装置	300×1200		1983	
鉄器保存処理室	精密噴射加工機			1983	
鉄器保存処理室	精密噴射加工機	バリーブラスト50N	トーフ技研	1992	
鉄器保存処理室	小型グラインダー	ミニタースタンダード	関東機器株式会社	1983	
鉄器保存処理室	軟X線装置	ソフテックスSPC-1501	ソフテックス	1991	TVシステム付
鉄器保存処理室	小型空気圧縮機		日立	1983	
鉄器保存処理室	ドラフトチャンバー	CSF-K15	島津理化	1992	
木器保存処理室	脱塩洗浄処理装置		瀧口製作所	1992	
一次処理室	超音波洗浄器	5200 J4	シャープ	1991	
一次処理室	卓上バキュームシーラー	SQ-202	サランラップ販売	1991	SQドレン付き
復元整理室	実体顕微鏡	SMZ-2T	ニコン	1991	写真撮影装置等一式
写 場	赤外線TVカメラ	IRRS-100	浜松ホトニクス	1992	

#### (5) 収蔵整理

報告書作成が終了した遺跡の遺物、図面、写真などを適切に管理し一般に公開するため、収蔵整理を実施している。また、全国から寄贈された発掘調査報告書や購入書籍、雑誌等についても台帳を作成し分類後図書室に配置している。これら資料類を関連づけて検索できるデータベースの構築が今後の課題となっている。

##### ① 発掘調査資料

平成9年度までにセンターに収蔵された資料数は延べ229遺跡分、コンテナ数で8,448箱になり、鉄、木製品の数約850点を数える。報告書作成が終了した遺跡から順次登録台帳を作成しているが、台帳の作成は遺物、遺物実測図、遺構実測図、写真、コンテナ、収蔵棚の項目を設け各々に番号を付し、必要な資料について検索できるようにしている。9年度現在、遺物及び遺物実測図については65遺跡、遺構実測図については35遺跡分の整理が終了した。遺物はコンテナ収蔵を基本とし、コンテナ外面に遺物登録番号、コンテナ番号、棚番号等を表示している。

## 平成9年度収蔵整理実施遺跡

	遺跡名	所在地		遺跡名	所在地
1	学頭・八兄	東諸県郡高岡町	6	平原	えびの市
2	吾平原第2	西臼杵郡高千穂町	7	妙見	えびの市
3	宮ノ前第2	西臼杵郡高千穂町	8	谷合第2	南那珂郡北郷町
4	城ノ平	西臼杵郡高千穂町	9	大塚	南那珂郡北郷町
5	野首	えびの市	10	鳩園(東霧島神社)	北諸県郡高崎町

### ② 図書資料

発掘調査報告書や書籍・雑誌類を集架している。平成9年度は2,190冊の受入れがあり、累計収蔵数は25,918冊になる。図書類はパソコンによるデータベース登録を実施している。

## 2 教育普及活動

センター展示部門では、年4回「コーナー展」として最新の発掘成果を速報的に展示し、あわせて遺物整理作業を見学できるようになっている。また、毎月第4土曜日には埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」を開催し、11月の文化財保護協調週間には「施設公開」を実施している。さらに、埋蔵文化財の発掘調査成果を広く公開するため「現地説明会」を実施するなど、直接埋蔵文化財に触れることができるよう各種の普及活動を実施した。

### (1) 展示

- ・常設展示  
埋蔵文化財の保護と宮崎の歴史  
文化財保護法と発掘調査の流れに関する解説
- ・コーナー展

展示テーマ	展示期間	展示内容
祇園原地区遺跡(新富町)の調査	平成9年2月5日 ～6月2日	滅失した古墳群-失われた墳丘
日向の城を読む(中世～近世)	平成9年6月4日 ～10月5日	県内出土城跡関係遺物の紹介
山間部の生活(弥生時代～古墳時代)	平成9年10月8日～ 平成10年2月1日	神殿遺跡(高千穂町)など山間部で発掘された遺跡の紹介
生活の中の文字(古代)	平成10年2月4日 ～5月31日	余り田遺跡(宮崎市)などから出土した土器に書かれた文字の紹介

## (2) 埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

毎月第4土曜日の午後1時半から3時まで、講座を実施している。講師は県文化課、県内市町村担当職員、センター職員がつとめ、平成9年度は「日向の城を読む」という年間テーマのもと12回の講座を開講した。なお、6月の講座は、シンポジウム形式で県民文化ホールにおいて開催した。

開催日	講座の内容	講師	受講者数
平成9年4月26日	「日向の城」入門編(概説)	宮崎県文化課 北郷泰道	31名
5月24日	入門編(縄張調査法)	宮崎県埋蔵文化財センター 橋本英俊	49名
6月28日	シンポジウム「日向の城を読む」 講演 「中世の城館を歩いてみよう」 「日向の城について」 シンポジウム	国立歴史民俗博物館 宮崎県文化課 千田嘉博 吉本正典  パネリスト 国立歴史民俗博物館 知覧町ミュージアム知覧 都城市教育委員会 日向市教育委員会 宮崎県立海洋高校 宮崎県文化課 千田嘉博 上田 耕 栞畑光博 緒方博文 若山浩章 吉本正典	218名
7月26日	佐土原城	佐土原町教育委員会 木村明史	93名
8月23日	穆佐城	高岡町教育委員会 島田正浩	76名
9月27日	都之城跡	都城市教育委員会 米澤英昭	45名
10月25日	延岡城跡	延岡市教育委員会 山田 聡	54名
11月22日	文献から見た城	宮崎県埋蔵文化財センター 小山 博	32名
12月20日	中世の人々Ⅰ	宮崎県埋蔵文化財センター 久木田浩子	25名
平成10年1月24日	中世の人々Ⅱ	宮崎県埋蔵文化財センター 日高裕司	35名
2月28日	出土遺物Ⅰ	宮崎県埋蔵文化財センター 川崎辰巳	42名
3月28日	出土遺物Ⅱ	宮崎県埋蔵文化財センター 松林豊樹	32名

## (3) 施設公開

文化財保護協調週間の行事として施設公開を実施した。

開催期日	内容	参加者数
平成9年11月2日 午前10時～午後3時	・施設や整理作業の見学 ・赤外線カメラによる墨書土器の観察 ・軟X線装置による鉄器観察 ・実体顕微鏡による土器胎土の観察 ・拓本、土器接合等の体験作業 など	54名

#### (4) 現地説明会

平成9年度は1遺跡で説明会を実施した。

遺跡名	所在地	開催日	内 容	参加者
木脇遺跡	東諸県郡国富町	平成9年8月3日 (日)13:00~14:00	旧石器時代から中世までの複合遺跡で、説明会では古墳時代と平安時代の住居跡を中心に概要を説明。	約180名

#### (5) 埋蔵文化財専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。

	内 容	場 所	日 程	参加者数
第1回	講演「九州における縄文時代研究の歩み」 別府大学名誉教授賀川光夫 講義・協議「発掘調査報告書の作成について」	県立図書館視聴覚室	平成9年11月11日 11月12日	70名
第2回	「現場測量システムの紹介」清武町：伊東 但 都城市：横山哲英 高千穂町：緒方俊輔 協議「測量システム導入とその問題点」	清武町資料整理室 県立図書館視聴覚室	平成10年1月28日 1月29日	25名

#### (6) 広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として「埋蔵文化財 みやざき」の発行や埋蔵文化財講座、施設公開等についてもポスターやパンフレットを作成した。

	刊 行 物 名	発 行 日
1	埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」『日向の城を読む』資料集	平成9年6月
2	宮崎県埋蔵文化財センター年報第1号(平成8年度)	平成9年10月
3	埋蔵文化財通信「みやざき」第2号	平成10年1月
4	平成8年度埋蔵文化財発掘調査一覧	平成10年2月

#### (7) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には館内利用(資料の閲覧・実測等)と館外貸出及び掲載許可があり、平成9年度は館内利用が4件、掲載許可が1件であった。

館内利用

資 料 名	利 用 者	利 用 日
堂地西遺跡縄文草創期資料	沼津市文化財センター 池谷信之	平成9年10月27日
堂地西遺跡等縄文草創期資料	加世田市教育委員会 上東克彦・福永裕暁	平成10年3月24日
地下式横穴墓出土須恵器	大阪府文化財調査研究センター 山元 建	平成9年10月15日
野久首遺跡等縄文早前期土器	東京学芸大学院生 立神倫史	平成9年12月

刊行物掲載（写真提供）

資料名	掲載刊行物名	依頼者	申請日
埋蔵文化財センター全景	「るるぶ情報版 宮崎98」	バナナプロ	平成9年10月7日

（8）研修・体験学習等の受入れ

研修の一環として埋蔵文化財センターの見学や調査現場での体験学習を取入れる学校、教育機関が増えている。平成9年度は中学校2校（2回）、高等学校2校（3回）、県教育研修センター3回の見学・実習があった。また、運営状況等の視察も1件あった。これ以外にも、多くの各種学級、史談会等が訪れている。

研修・体験学習

内 容	場 所	依 頼 者	実 施 日
特別研修講座（第一期）施設見学	埋蔵文化財センター	宮崎県教育研修センター	平成9年6月13日
校外体験学習	東郷町鶴野内遺跡	宮崎県立日向高等学校	平成9年8月25日～27日
地域学習	追内遺跡	宮崎県立宮崎南高等学校	平成9年11月21日
職場体験学習	埋蔵文化財センター・木脇遺跡	宮崎県立宮崎南高等学校	平成9年8月6日
施設見学（学校裁量の時間）	埋蔵文化財センター	宮崎大学附属中学校	平成9年6月17日
職場体験学習	埋蔵文化財センター	宮崎市立宮崎北中学校	平成9年10月9日
特別研修講座（第二期）施設見学	埋蔵文化財センター	宮崎県教育研修センター	平成9年9月24日
特別研修講座（第三期）施設見学	埋蔵文化財センター	宮崎県教育研修センター	平成10年2月6日

視察等

来 館 者	来 館 日	目 的
岡山県古代吉備文化財センター 難波拓史・砂 泰蔭 金田善敬	平成9年11月20日	施設見学、収蔵品実見

（9）会議・職員研修

奈良国立文化財研究所で実施している発掘技術者研修や、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内 容	日 程	開 催 地	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	平成9年6月5日・6日	神奈川県湯河原町	藤本健一
同連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議	平成9年8月26日～28日	香川県高松市	岩永哲夫
奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター 埋蔵文化財発掘技術者研修「年代決定法」課程	平成10年2月4日～ 2月6日	奈良県奈良市	日高広人



## (10) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、講演等の普及啓発行事にも職員を派遣している。平成9年度は調査指導6件、調査協力1件、講演2件であった。

### 調査指導

内 容	派遣期日	依頼者	派遣職員
石河内本村遺跡調査指導	平成9年7月15日～8月29日	木城町教育委員会	甲斐貴充
石河内本村遺跡調査指導	平成9年9月29日～10月1日・6日	木城町教育委員会	甲斐貴充
速日峰地区遺跡発掘調査指導	平成9年10月2日	北方町教育委員会	岩永哲夫
鶴喰遺跡竪穴住居等調査指導	平成9年11月5日	都城市教育委員会	谷口武範
上蘭遺跡発掘調査指導	平成9年12月8日～10・12・15日	新富町教育委員会	甲斐貴充
町内遺跡詳細分布調査指導	平成10年3月16日・3月18日	木城町教育委員会	岩永哲夫

### 調査協力（職員派遣）

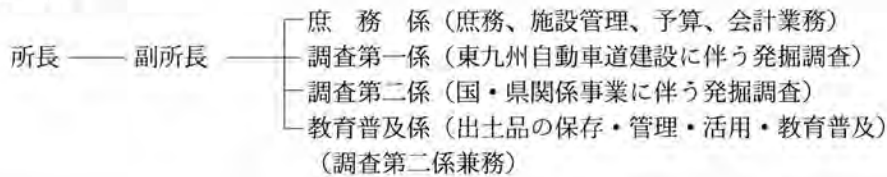
協力内容	日付	依頼機関	派遣職員
ふるさと開発整備事業に伴う鶴野内中水流遺跡の発掘調査	平成9年7月7日～7月18日	東郷町教育委員会	高橋 誠

### 講演

行事名	演題	期日	依頼者	場 所	派遣職員
西郷村歴史教室・北方町郷土史講座合同研修会	東郷町鶴野内遺跡の発掘	平成9年12月23日	北方町教育委員会	西郷村ニューホープセンター	高橋 誠
宮崎市立小中学校事務職員研修会	「宮崎の遺跡をたずねて」	平成9年 8月27日	宮崎市教育委員会	宮崎公立大学	谷口武範

## II 組織・施設

### 組織



所長	藤本 健一	主査	菅付 和樹	調査第二係	
副所長	岩永 哲夫	主査	川崎 辰巳	(兼)係長	岩永 哲夫
庶務係		主査	高橋 祐二	主査	谷口 武範
		主査	倉永 英季	主任主事	重山 郁子
係長	三石 泰広	主査	山田洋一郎	主任主事	東 憲章
主任主事	吉田 秀子	主任主事	松原 宗一	主事	松林 豊樹
主任主事	磯貝 政伸	主任主事	吉牟田浩一	主事	和田 理啓
調査第一係		主任主事	戸高眞知子	主事	高橋 誠
係長	面高 哲郎	主任主事	日浅 雅道	主事	久木田浩子
主査	園田 和博	主任主事	木本 剛	主事	甲斐 貴充
主査	日高 裕司	主任主事	柳田 益宏	(嘱託)	
主査	鳥原 孝仙	主事	崎田 一郎	整理専門員	津隈久美子
主事	小山 博	主事	橋本 英俊	調査員	米久田真二
(高速道対策局・併)		主事	大坪 博子	調査員	黒木 欣綱
主査	青山 尚友	主事	日高 広人	調査員	柳田 晴子
主査	高山 富雄	(嘱託)			
主査	時任 和守	調査員	太川 裕晴		
主査	江田 誠	調査員	代田 博文		
		調査員	谷川亜紀子		

### 施設

#### (神宮本館)

構造 鉄筋コンクリート造2階建

床面積 1,649.0㎡

開館日 昭和57年10月2日

1階	一次処理室	121.2㎡	2階	写場・暗室	49.4㎡
	復元整理室	148.3㎡		図書室	35.1㎡
	保存処理室	49.3㎡		研修室	53.1㎡
	鉄器	26.6㎡		収蔵整理室	19.3㎡
	木器	22.7㎡		収蔵室	564.0㎡
	整理研究室(兼事務室)	172.0㎡		特別収蔵室	54.0㎡
	所長室	13.0㎡			
	展示室	150.0㎡			
	器材庫	11.0㎡			

#### (国富分室)

構造 コンクリート造平屋 552.3㎡

プレハブ構造 平屋 202.0㎡

事務室 117.0㎡

実測室 94.0㎡

トレース室 36.0㎡

総床面積 754.0㎡

整理室 202.0㎡

休息室 43.0㎡

その他 262.3㎡

### Ⅲ 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980	昭和55	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案
1981	56	基本設計を実施
1982	57. 1. 9 7.29 57.10. 2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、 兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」（講師：国立民 族学博物館教授 佐々木高明）。
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	（茂山護転出、菅付和樹転入）
1985	60.11. 2	文化財保護協調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群-遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。 センター長長友巖発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平成 1. 4. 1	センター長石井祥博発令。（菅付和樹転出、永友良典転入）兼務職員11名となる。
1990	2. 3 2. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳-遺物編」刊行。 兼務職員が13名となる。
1991	3. 3 3. 4. 1 3	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡-資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1 4	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展 '82-'91-」を開催する。 脱塩装置・赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 5. 9.15	センター長後藤健志発令。本務職員1名、兼務職員15名となる。 空調設備増設。
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置。
1995	7. 1.29 7. 2.16 7. 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成。 屋根防水工事完了。 センター長関屋清志発令。本務職員1名、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋文センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第1係、 第2係、教育普及係（第2係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第1係（東九州自 動車道担当）を置く。
1997	9. 3.17	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。

## IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(平成8.3.29 教育委員会規則第5号)

(趣 旨)

第1条 この規則は別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事 業)

第2条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

1. 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
2. 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
3. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
4. 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
5. 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
6. その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組 織)

第3条 埋蔵文化財センターに、次に掲げる係を置く。

庶務係  
調査第一係  
調査第二係  
教育普及係

(分掌事務)

第4条 前条の各係の分掌事務は、次のとおりとする。

庶務係

1. 職員の人事、給与及び服務に関すること。
2. 予算の執行及び決算に関すること。
3. 文書の收受及び発送に関すること。
4. 公印の管守に関すること。
5. 施設及び設備の管理運営に関すること。
6. その他他の係の所管に属さない事項に関すること。

調査第一係

1. 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

調査第二係

1. 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

教育普及係

1. 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
2. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
3. 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸し出しに関すること。
4. 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。	
副 所 長	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。	
係 長	上司の命を受けて、係の事務を処理する。	
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。	
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。	

2. 前項に規定する職のほか、必要に応じ、埋蔵文化財センターに次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を処理する。
主 任	上司の命を受けて、専門的業務を処理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要なに応じ、その他の職員の職として技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休 館 日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

1. 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときを除く。)
2. 休日の翌日(土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。)
3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで。
4. 特別整理期間(あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。)
- 2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項各号に掲げる日に開館し、又は同項各号に掲げる日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

1. 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
2. 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
3. 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
4. 条例若しくは規制又は所長の指示に従わないとき。
5. 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書(別記様式第1号)を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

1. 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部大臣が博物館に相当する施設として指定したもの
2. その他所長が適当と認めるもの
- 2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
- 3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書(別記様式第2号)を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。
- 4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。
  1. 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
  2. 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
  3. 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁 償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委 任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの運営管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 (抄)

(施行期日)

1. この規則は、平成8年4月1日から施行する。



別記

様式第1号（第10条関係）

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所  
申請者 氏 名  
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、  
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所  
申請者 氏 名  
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、  
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館外貸出しを受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

宮崎県埋蔵文化財センター年報第2号  
平成9年度（1997）

編集・発行：宮崎県埋蔵文化財センター  
880-0053  
宮崎市神宮2-4-4  
発行日：平成10年12月  
印刷：小柳印刷株式会社  
宮崎市旭1丁目6-25



#### 位置

- 観覧時間  
午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日  
毎週月曜日  
国民の祝日の翌日  
年未年始(12月28日～1月4日)
- 入館料 無料

## 宮崎県埋蔵文化財センター

宮崎市神宮2丁目4-4 (〒880-0053)  
TEL 0985-21-1600  
FAX 0985-26-2634

- 宮崎神宮駅(JR)一徒歩10分
- 宮崎神宮行きバス一神宮終点下車徒歩10分
- 綾・国富・平和が丘行きバス一「博物館前」下車徒歩2分